小論文演習　学習の手引き　プリント

組　　番　名前

**《新型コロナウイルスの小論文作成について》**

　新型コロナウイルスにより、社会は様々な影響を受けることになりました。「新しい生活様式」という言葉も生まれ、私たちの生活も大きく変化をしたと思います。今回は、複数のテーマから一つ選び、自身で調べ学習を行った後、小論文の作成をしてもらいます。

また、昨年度入試では、小論文や面接でコロナ関係の問が多かったようです。その対策も踏まえて、小論文の作成を行っていきましょう。

**《『本単元の授業目標》**

１　目的や意図に応じて 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性

を吟味して、伝えたいことを明確にすること。  
２　読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章

の構成や展開を工夫すること。  
３　自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方をえるとともに 文

章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。  
４　目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手か

らの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。

**《授業の流れ》**

１、六月三十日（水）３限　単元の内容説明、テーマ選択、ウェビング、調べ学習

２、六月三十日（水）４限　調べ学習、小論文メモ作成、文章作成

３、七月七日（水）３限　小論文を完成させる

４、七月七日（水）４限　他の人が書いた文を読み、アドバイスする

**【テーマ選択】＊字数は全て７００～８００字とする。**

**□東京オリンピックの時、新型コロナウイルスの感染防止対策について**

**□リモートワークという新しい働き方について**

**□ウィズコロナからアフターコロナへ**

**□コロナウイルスがもたらした差別や偏見について**

**□新型コロナウイルスが収束をしたら、オンライン授業はなくすべきか否か**

**□コロナウイルスの影響で私たちの生活にプラスになったこと**

**□コロナ収束後にあらわれる課題と解決策**

**□コロナショックを超えてどう生きるか**

**□他国と比較した日本の感染症対策について**

**□コロナ禍でのスポーツの在り方について**

**□コロナ禍での学校の在り方について**

**□飲食店への協力金配布について**

**□ウィズコロナ時代で求められる人材とは**

**□コロナ禍のＳＮＳ等による不確かな情報の拡散について**

**□コロナウイルスの影響による「格差・貧困」について**

**□緊急事態宣言やまん延防止といった政策について**

**□（自身が設定したいテーマがあれば、担当教員と相談をして下さい。）**

**【テーマについて掘り下げるウェビング】**

**（例）**

**【選んだテーマについて、新聞や本、スマホ等で調べてみよう！】**

目標１目的や意図に応じて 実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。

**自身の意見を述べるという目的に対して、「コロナ」という題材で、資料を集めてみよう！**

**そして、それに基づいて、５ページに自分の意見を書いてみよう！**

【参考した資料（例）】「令和３年６月２８日　産経新聞朝刊」

【調べた内容（例）】記事名「オンライン授業　悪循環の恐れ」

新型コロナウイルス下のオンライン授業になじめない学生の意欲が懸念されている。

意欲の低下に伴い、大学の成績が下がり、奨学金の打ち切りにあった。生活のためにアルバイトをすることになり、さらに大学の授業についていけなくなるという悪循環に陥るケースもある。

【参考した資料（１）】「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

【調べた内容】

【参考した資料（２）「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

【調べた内容】

【参考した資料（３）「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

【調べた内容】

**【調べ学習を踏まえて、テーマに対する自分の意見を書いてみよう！】**

**（例）**

**自分が選んだテーマ「リモートワークという新しい働き方について」**

**テーマに対する意見**

**「リモートワーク」ではコミュニケーションが円滑に行うことが出来ないため、全員が集まって出社するべきである。**

**自分が選んだテーマ…「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」**

**テーマに対する意見**

【参考】良い小論文にするために…

**・資料やデータに基づいて考察したり検証したりする**

思いつきや勘だけで答えを当てるのではなく、叙述や資料、データに基づいて、それらを引用して自分の考えを形成する。

**・視点の転換や逆思考をして考える**

異なる視点や逆のプロセスから考えたりして、相手の心情や自然現象、社会事象を多面的に考察し表現する。

**・多角的に考察し表現する。**

複数の資料や観察結果をもとに、それらを比較したり関連づけたりして共通点や相違点を検討し、しっかりとした結論を出す。

**・異なる多様な考えを比較して考える**

自分とは異なる多様な考えや意見を参考にして、自分の考えや意見を根拠や論理を明確にして形成したり再定義したりする。

**【小論文の構成ＭＥＭＯを書こう！】**

目標の２番３番をここで確認してみよう！

【【２段落MEMO】

【【３段落MEMO】

【【１段落MEMO】

★三段落構成で書くこと（常体…「だ・である調」で書こう！）

①段落…テーマに対する自身の意見を明確に打ち出そう！

②段落…意見の理由と根拠を書こう！

思いつきで考えるのではなく、**理由や根拠を資料やデータを引用して**、文章や式、図を組み合わせてわかりやすく説明する。

本や資料をそのまま要約するのではなく、既有知識を活用して自分なりの言葉や表現を工夫して書いたり話したりする。

③段落…まとめ（１～２段落を踏まえ、自身の意見を再度繰り返す。）

**【実際に小論文を書いてみよう！】**

**【自分とクラスメイトの小論文を評価してみよう！】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **文章表現** | **文章構成** | **理由・根拠** |
| **３** | **・文章が「だ・である調」で統一されている。**  **・字の誤りが文章内で０～１程度である。** | **・意見⇒理由・根拠⇒まとめの３段落構成になっている。**  **・資料やデータの引用が適切である。** | **・資料やデータを引用して、自身の意見の理由と根拠に適切になっている。** |
| **２** | **・文章が「だ・である調」で統一されていない箇所がある。**  **・字の誤りが文章内で２～３程度である。** | **・段落の中に一部、意見や理由が混同しているところがある。**  **・資料やデータの引用が段落の半分以上である。** | **・資料やデータを引用して、自身の意見の理由と根拠にややなっている。** |
| **１** | **・敬体・常体が混合した文章になっている。**  **・字の誤りが文章内で４つ以上ある。** | **・段落同士の繋がりが見えない構成になっている。**  **・資料やデータの引用がほとんどである。** | **・自身の体験や見分が理由・根拠のメインとなっている。** |

【自身の小論文を推敲してみよう！】推敲…文章を練り直し、よりよくしていくこと。

目標４目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。

【推敲のPOINT】

・漢字の間違い…適切〇　敵切×　根拠〇　根居×

・「です」・「ます」という文言…「だ・である」に変換する

　「甘いものは好きですが、辛いものは嫌いである。」…「甘いものは好きであるが…」

・段落が３段落構成になっているか

・引用部分が引用であると明確になっているか…引用部分には「　」をつける

・一文が長くなり過ぎていないか…読んでみてリズムが良くなりそうなところに

　句読点を打ってみる。

・もっと良い表現があれば、考えてみよう！

**【推敲セッションをしてみよう！】**

★グループワークの手順

**〈注意事項〉**

下記の注意事項を守りましょう！！

・改善点を述べる際には、相手が不快にならないよう注意しましょう。

　（悪い例）

　「～が良くないですよね」　「～が悪いですよね」　「～が分かりにくいですよね」

　（良い例）

　「こうすれば～良くなると思います」　「どうして～にしたのですか？」

・最後に必ずお礼を述べましょう。

・改善点がなければ、良い点をたくさん褒めましょう。

・付箋紙・ルーブリックを用いた採点は、綺麗な字で記入しましょう。

**【単元の振り返り】**

★次に取り組みたい新しい課題や疑問、問いを考えて、次の学びへとつなげる。

**【今回の授業を通して、次に活かしたいこと】**

**【次に取り組みたい新しい課題や疑問】**

**【振り返り活動】（目標の達成度合を記述してみよう！）**